

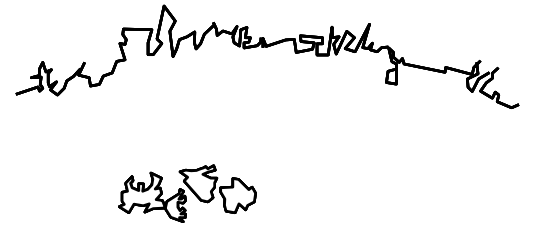
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8 号)

2019年12月25日発行
 兵庫のみ研究所

この海域沿岸部ではキートセロス・筒状に連鎖するものや、減少していたユーカンピアが再び増加しており珪藻の発生量が多い状況となっています。そのため窒素が $1 \mu\text{g at / L}$ 以下の低い値となっています。沖合漁場においてもこれら珪藻が確認されますが、今のところ特に問題となる状況ではありませんでした。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場ではキートセロスやデトヌラ等数種の珪藻が、前回(12/13)調査と比較し増加している。またユーカンピアが再増殖しており、海水1mlあたり400~500細胞と発生量が多く、窒素は大きく低下した値を示した。沖合漁場でも同様の珪藻が散見されており発生量がやや増加しているが、窒素は $4\sim 5 \mu\text{g at / L}$ 台であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.0	0.5	3.9	4.0
	リン	0.56	0.37	0.47	0.49
家島・坊勢	窒素	5.4	5.0	6.0	7.1
	リン	0.78	0.75	0.66	0.68

(12/13) (12/27)

栄養塩 (窒素) 図

20019年12月25日調査

